

大久保北部遊休地の利活用に向けた取組状況について

大久保北部遊休地の利活用については、これまでも市の長期的な課題として有効な方策を検討してきたところです。

令和3年3月議会の総務常任委員会において報告したとおり、神戸西バイパス延伸事業に関連し、NEXCO 西日本から工事で発生する土砂の遊休地への受け入れ提案がありました。この提案を受け、NEXCO 西日本と協議を進めて来ましたが、この度、NEXCO 西日本から同提案を取り下げる意向が示されました。

つきましては、NEXCO 西日本との協議内容と今後の取組について報告します。

1 NEXCO 西日本との協議内容

(1) 当初の提案内容

神戸西バイパスを第二神明道路に接続する神戸西バイパス延伸事業として、神戸市西区の永井谷ジャンクションから石ヶ谷ジャンクション（仮称）までの約6.9km区間の整備が進められています。この事業に関連し、NEXCO 西日本から、次のとおり提案がありました。

- ① 事業により発生する土砂の大久保北部遊休地への受け入れ
- ② 土砂搬入時期は令和4年度からを希望

(2) 協議内容

① 課題整理

土砂の受け入れを検討するにあたり、次のとおり課題等を整理のうえ、NEXCO 西日本と協議を行いました。

- ア 市所有地の区域内に民有地が点在し、境界が未確定であること
- イ 自然環境との調和や生態系への配慮について、環境調査が必要であること
- ウ 埋蔵文化財の調査が必要であること
- エ 市とNEXCO 西日本との役割分担（スマート IC の設置や遊休地の造成計画等）
- オ 土砂受け入れに向けたスケジュール

② 協議結果

NEXCO 西日本は、当初、土砂受け入れの開始時期は令和4年度中とし、具体的な時期までは未定としていましたが、この度、令和4年4月からの土砂搬出が必須との意向を示しました。遊休地への土砂搬入にあたっては、遊休地に点在している民地権利者の全同意が最低条件になること、希少種の保全等に関する環境調査や包蔵地での埋蔵文化財調査が必要であること等、不確定要素が多くリスクが大きいため、神戸西バイパス延伸事業とのスケジュールが合わないことから、本市への提案を取り下げ、別の場所を探すとのことでした。

2 今後の取組

(1) 迂回路（工事用南北道路）及び側道の整備について

NEXCO 西日本は、神戸西バイパス延伸事業及び第二神明道路拡幅事業のために必要となる側道整備や公園墓地橋の架替、橋の架替のための迂回路（工事用南北道路）整備を計画しています。これらの側道や迂回路については、事業完了後も市道として供用する予定となっているため、今後も引き続き NEXCO 西日本と協議を進めて行く予定です。

(2) 遊休地利活用等に向けた検討について

遊休地への土砂受け入れの実現性は無くなりましたが、神戸西バイパス延伸事業で迂回路（工事用南北道路）や側道が整備され、遊休地への道路アクセスが向上することから、引き続き、スマート IC 設置の可能性や遊休地の利活用について、環境調査等を行いながら、検討を進めて行く予定です。

[参考：概要図（NEXCO 西日本からの土砂受け入れ提案時）]

